オフィスビルにおける セキュリティシステムの動向

天野真利*

The Trend of Security System in the Office Building

Masatoshi Amano

要　旨

大都市圏を中心にオフィスビルの建設ラッシュが続いており，特に大規模ビルでは，個人情報保護や機密情報管理の意識の高まりによって，セキュリティシステムを導入することは必然的になってきている。

本稿は，セキュリティシステムの核となる三菱統合ビルセキュリティシステム“MELSAFETY−G”を中心に，次の項目に整理して述べる。

(1)　センター装置の管理機能

登録，削除等のカード管理や通行権限の設定，扉の監視や操作，通行履歴等の履歴管理機能

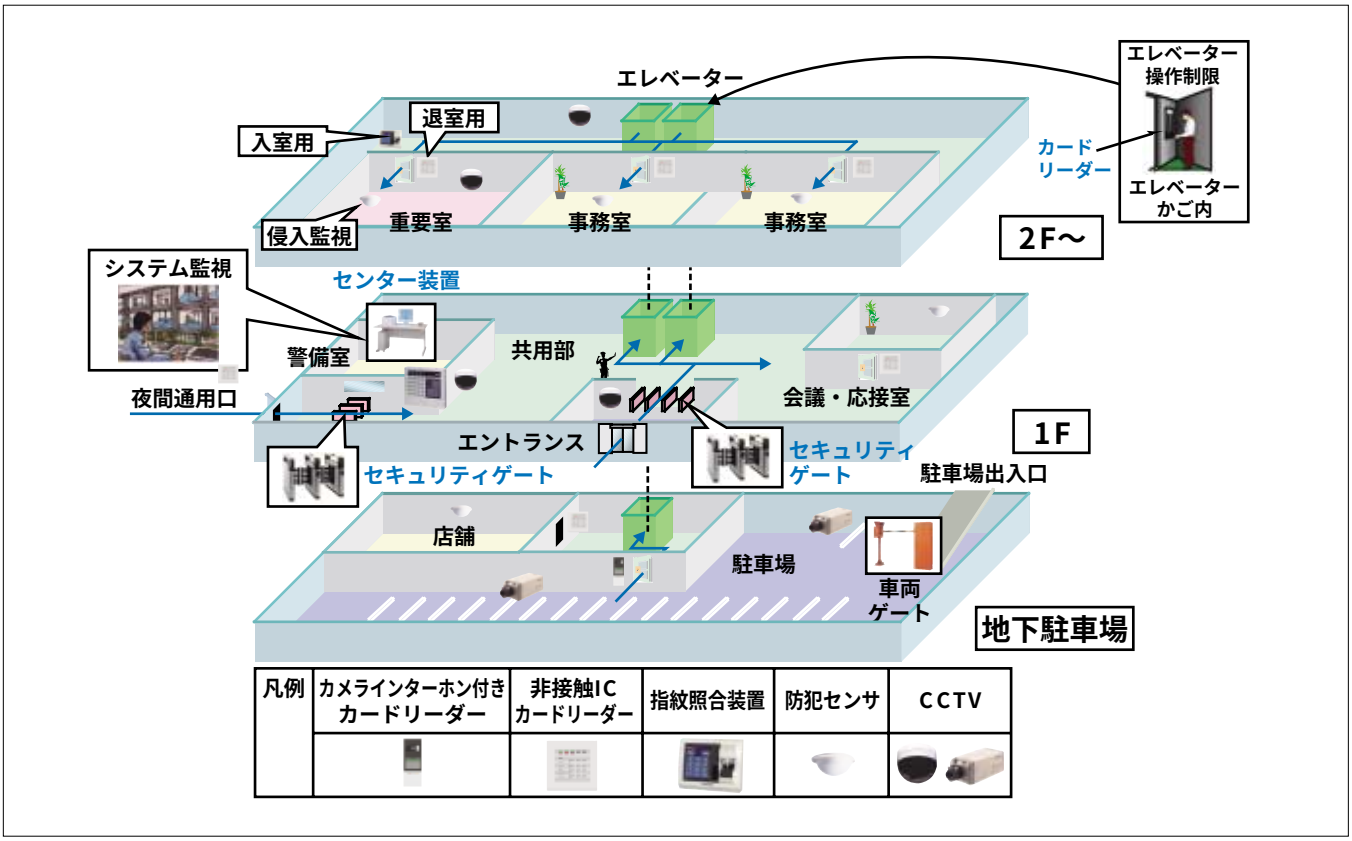
(2)　他システムとの連携機能

人事サーバ，カード印刷機，情報システムとセキュリティシステムとの連携内容

(3)　他設備との連動機能

エレベーターや空調，照明設備等，他設備とMELSAFETY−Gとの連動制御内容

本稿で述べる導入事例は，MELSAFETY−Gで基本的には対応が可能になっている。しかし，管理者(オーナー)や入居テナントからの要望は多様化している。テナントがシステムを持ち込んでセキュリティを構築するケースも増えつつあることからも，顧客要望は，これからも多様化すると予想される。今後もその要望に対応するために，さらにシステム機能を拡充しなければならない。



セキュリティシステムの構成例

非接触ICカードリーダーや指紋照合装置等の各種認証端末を部屋の用途やセキュリティレベルに応じ配置する。エントランスや夜間通用口にはセキュリティゲートを使用する場合もある。センター装置は，それらの端末の管理のほか，カード発行や通行権限の設定等を行う。エレベーター，CCTV(Closed Circuit TeleVision)等，他設備と信号の授受によって，連動を図る。

*本社